

つなぐ

Vol.63

2023.5月

心臓手術の大きな第一歩へ。

2023年4月、心臓血管外科における手術支援ロボット・ダビンチでの手術が行われた。

従来の一般的な心臓手術では胸骨を切り開いて行う。その傷口は20〜30cmほどの大きさで出血量も多く、患者にとっては身体的、精神的に大きな負担を負うことになる。

当院で2000症例に及ぶMICS（低侵襲心臓手術）は、胸骨を切開することなく5〜7cmの肋骨の隙間から手術を行う。このMICSで患者への術後QOLは大きく改善されたが、狭い術野での手術のため、難易度が高く医師の経験に頼る部分も少なくない。その一方でダビンチを用いたロボット手術はMICS同様、骨を切開することなく数か所の小さな穴だけですべての操作を行う。術者は「サージョンコンソール」と呼ばれる、いわばコックピットに座った状態で高い技術を要した縫合や切除などが確実に行えるため、術中の出血が少なく、患者にとって負担が少なく早期の退院が可能だ。従って心臓領域でのダビンチ手術は患者にとっても医師にとっても非常にメリットの大きい手術として期待されている。

ダビンチでの手術適応の範囲も今後さらに拡大していくだろう。新しい治療法への挑戦が患者の新しい未来につながることを信じ、医師の奮闘は続いていく。



第71回

小倉循環器内科セミナー

2023年 6月5日(月) 18:00~18:30



ダビンチによる心臓・大血管手術

座長 小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児

講師 心臓血管外科 主任部長 大野 暢久

参加方法



ZOOMによる
WEB参加のみとなります!

ZOOMの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研究会→④zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

